

4

過去の書類をテンプレートとして呼び出し活用しよう

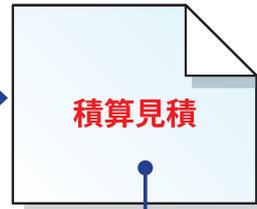
過去に作った書類に似通った工事内容があった場合、過去の書類をテンプレートとして読み込み明細の一部を新規書類に流し込むことで、書類の作成作業の軽減が図れます。更に、過去の書類と差異の生じた「単価」項目は、一括で訂正することが可能です。

テンプレートがあると、項目忘れなどのミスを防げます。



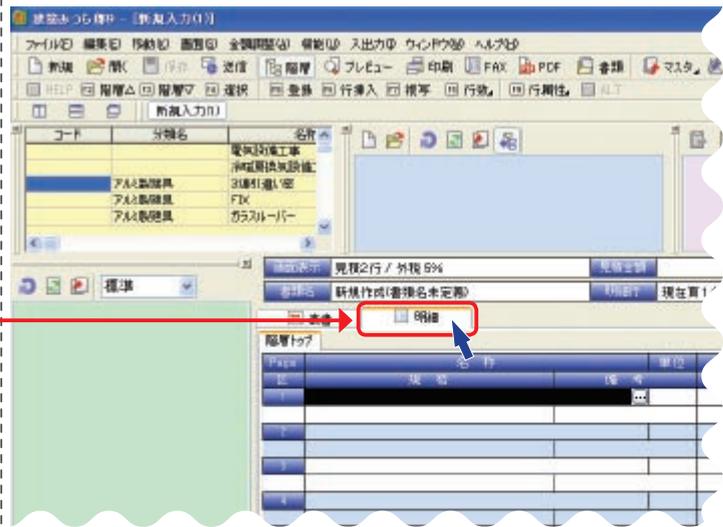
Page	品名	単位	見積単価	見積数量	見積金額
1	内訳				
↓	ウ-7	m	50.00	32	
↓	VVF 1.6-2C				
↓	ウ-7	m	37.00	80	
↓	VVF 1.6-3C				
↓	ウ-7	m	63.00	30	
↓	VVF 2.0-3C				
↓	ウ-7	m	29.00	40	
↓	SHK4V 0.8-2C				
↓	A*7	m	40.00	30	
↓	PF 16				
↓	A*7	式	1.00	1350	

Page	品名	単位	見積単価	見積数量	見積金額
1	内訳				
↓	ウ-7	m	50.00	25	
↓	VVF 1.6-2C				
↓	ウ-7	m	37.00	180	
↓	VVF 1.6-3C				
↓	ウ-7	m	63.00	180	
↓	VVF 2.0-3C				
↓	ウ-7	m	29.00	45	
↓	SHK4V 0.8-2C				
↓	A*7	m	40.00	180	
↓	PF 16				
↓	A*7	式	1.00	1350	



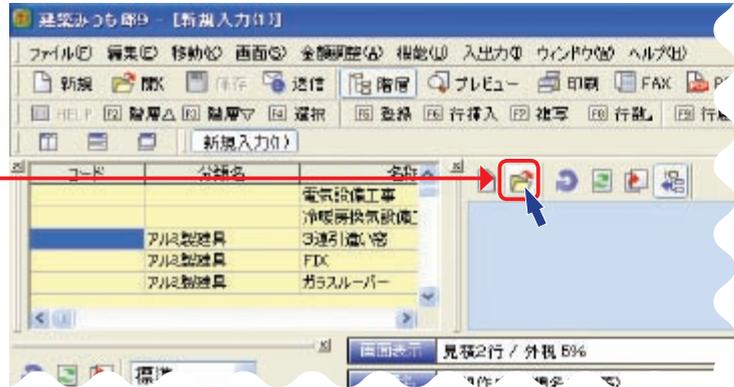
単価に違いのある
2つの書類から、
新しい1つの積算見積書を
作成します

1 新規の書類を開き「明細」タブをクリックします。



2 過去の書類をテンプレートとして読み込みます。

テンプレートパネルの「書類 / テンプレートを開く」アイコンをクリックします。

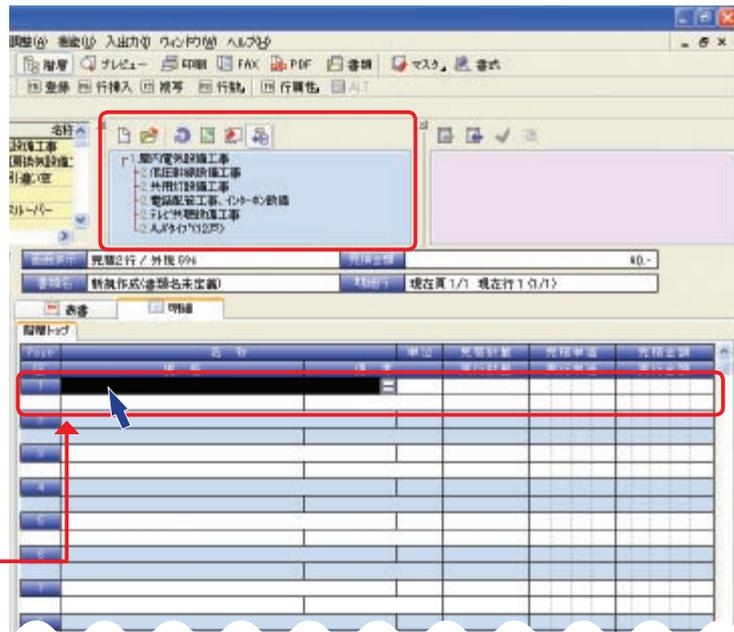


3 「書類 / テンプレートを開く」ダイアログが開きますので、過去に作成した書類を選択し、<開く>をクリックします。

※「建築みつも郎9」では「建築みつも郎8」「建築みつも郎6」「建築みつも郎3」の書類がテンプレートとして読み込むことができます。



4 テンプレートパネルに階層構造が表示されますので、内容の確認を行います。



5 明細を流し込む、明細行を選択します。